

英語科学習指導案

1 単元名 Program 2 1-B の生徒たち (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元の目標

(1) 一般動詞（肯定・否定・疑問）や複数形、疑問詞 when を用いた文の構造を理解する。

[知識] 【知識及び技能】

(2) 自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、一般動詞（肯定・否定・疑問）や複数形、疑問詞 when などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付ける。

[技能] 【知識及び技能】

(3) 相手に伝わるように、自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできるようにする。

【思考力・判断力・表現力等】

(4) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や話し手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝え合おうとする。また、相手に伝わるように、自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。

【学びに向かう力、人間力等】

3 単元について

本単元では、学習指導要領外国語第2 英語の目標 (2) 話すことイ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に重点を置いて指導を行う。中学校生活にも徐々に慣れてきた登場人物が、教室で友達に自分の趣味について話す場面が設けられている。また、その趣味から発展し、スポーツや得意なことを話すという自然な流れの会話の中で、相手に自分のことを知ってもらえることができると同時に、相手に質問することで、より相手のことを知ることができる。本校生徒も学校生活に慣れてきたことで、友達ができ始め、単元により近い状況にあると考えられる。日常生活により近い場面設定の中で、英語で自分のことをわかってもらったり、相手のことを理解したりすることができる実践的なコミュニケーション能力を生徒に身に付けさせ、意欲的にやりとりできるようにし、自信をもつことができる機会としたい。

本学年では、CAN-DO リストを用いながら、単元前と単元後に、セルフチェックを行う。単元が終わった後に、理解し成長したと感じる点や、難しかったと感じる点を自己評価することで、主体的に学習に取り組む態度の育成をはかっている。今回の単元では、小学校時に既習した、Do you ~? や When ~?、そしてより身近な言葉で既習の動作を表す action cards を使うことで、小学校との連携を図ることを念頭におきながら発展的な表現の習得へと結び付けたい。

4 生徒の実態

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知識】</p> <p>・一般動詞（肯定・否定・疑問）や複数形、疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【技能】</p> <p>・自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、一般動詞（肯定・否定・疑問）や複数形、疑問詞 when などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>相手に伝わるように、自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできるようにしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や話し手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝え合おうとする。また、相手に伝わるように、自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>

6 指導と評価の計画 (6/9)

時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	[Scenes 1] ・写真やリスニングを通して、本課の内容を想像し、理解する。	<p>【知識】</p> <p>・一般動詞（肯定・否定・疑問）や複数形、疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。</p>	<p>記録に残る評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>	
2	[Scenes 1] ・複数形の用法を理解し、好きなものを表現する。			
3	[Scenes 1] ・一般動詞（肯定・否定）の用法を理解し、好きなことや普段することを表現し、伝え合う。			
4	[Think 1] ・本文の確認、音読練習をする。 ・外国の人や自分が興味を持ったり好きだったりすることなどについて考える。	<p>【技能】</p> <p>・自分が普段することについて頻度や時間、好きなことなどを整理し、一般動詞（肯定・否定・</p>		
5	[Scenes 2] ・一般動詞（疑問）の用法を理	<p>記録に残る評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>		

	解し、相手がすることや普段することをたずね、伝え合う。	疑問) や複数形などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。		
6 本 時	[Scenes 2] ・ when の疑問文の用法を理解し、相手のすることをいつするかなどをたずね、伝え合う。			
7	[Scenes 2] ・ 写真やリスニングを通して、本課の内容を想像し、理解する。			
8	[Think 2] ・ 本文の確認、音読練習をする。 ・ 外国の人や自分が好きだったりすることなどについて考える。			
9	[Interact] ・ 自分と相手の相性チェックをする。 ・ 普段することについて表現する。		相手に伝わるように、自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や話し手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝え合おうとする。また、相手に伝わるように、自分が普段することについて、頻度や時間、好きなことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ・ 疑問詞 when を用いた文の構造を理解する。 [知識] 【知識及び技能】
- ・ 自分がしたいことについて、考えを整理し、疑問詞 when を用いた文でたずねたり、その質問に答えたりする技能を身に付ける。 [技能] 【知識及び技能】

(2) 本時の展開 (9 時間扱いの 6 時間目)

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 2分	<p>1 全体で元気よく挨拶をする。</p> <p>T : Good morning, every one. S : Hello, Ms Yanagisawa. T : How are you today? S : I'm good(sleepy, tired, so-so...).</p> <p>挨拶に加え、体調、天気、曜日を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師側が元気よく挨拶をし、簡単なやりとりをしながら、授業の雰囲気を作る。
帯活動 5分	<p>2 帯活動 (action cards)</p> <p>教科書に出てくる action cards に加え、前時で使ったフレーズを、パワーポイントを使い音読練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使い、テンポよくカードと語句を提示していく。
導入 10分	<p>3 本日の目標を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手のすることについて、いつ行うのかたずねられるようになる。</p> </div> <p>T : We go to Disneyland this weekend. I made my plan ! I'll show you my schedule.</p> <p>T : I take a picture with Mickey in the morning. I see fireworks at night. When do I see fireworks? In the morning? At night?</p> <p>S : At night.</p> <p>T : When do I buy Disney goods? Before dinner? After dinner?</p> <p>S : After dinner. It's your turn.</p> <p>T : When do you want to ride Haunted Mansion?</p> <p>S : ().</p> <p>4 中心となる言語材料を確認する。</p> <p>A: When do you see fireworks? B: At night.</p> <p>5 in the morning, before, after, during</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を明示して、生徒と共有する。 ・教師側の説明を、顔を上げて聞けるようにする。 ・in the morning, before, after, during 等の時間帯を意識させて確認していく。 ・何回か、やりとりを繰り返す。

	などの語句の確認をし、練習する。	
展開 活動1 10分	<p>6 ワークシートを配り、書き方を提示し、Disneyland で各自やりたいスケジュールを作る。</p> <p>7 When do you see fireworks? と例文を使いながら、練習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの書き方の例を提示する。 ・時間を決めて、スケジュールを作る。 ・地図を配り、実際の場면을想像させる。 ・しっかり声に出して練習する。
活動2 20分	<p>8 やり方を説明し、最初は、隣の人に質問する。制限時間5分とする。</p> <p>S1:Hello.</p> <p>When do you ride Splash Mountain?</p> <p>S2: In the morning.</p> <p>S1: (Oh, really?) Thank you.</p> <p>ペアのスケジュールを記入する。</p> <p>9 席を1つずらして、次の人で行う。</p> <p>S1:Hello.</p> <p>When do you ride Haunted Mansion?</p> <p>S2: I'm sorry, I don't ride it.</p> <p>S1: When do you eat caramel popcorn?</p> <p>S2: During lunch.</p> <p>S1 : (Me too.) Thank you.</p> <p>ペアのスケジュールを記入する。5分ごとに3人行う。</p> <p>10 5ペアに発表してもらおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに行くように、指示する。 ・戸惑っている生徒に対しては、ペア同士助け合うよう助言する。 ・最後の一言を工夫して言えるように、助言する。 ・発表者に対し、耳を傾けて、しっかり聞くよう助言する。 ◎疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。[知識]【知識・技能】(後日ペーパーテスト) ◎自分がしたいことについて、考えを整理し、疑問詞 when を用いた文でたずねたり、その質問に答えたりする技能を身に付けている。[技能]【知識・技能】(観察・後日ペーパーテスト)

		<p>評価基準</p> <p>A: 最後の一言を工夫して付け加えることができる。</p> <p>B: when を用いた文でたずねたり、質問に答えることができる。</p> <p>C: when を用いた文でたずねたり、質問に答えることができていない。</p>
<p>まとめ 3分</p>	<p>11 本日のポイントを再確認し、次回の宿題等を確認する。 振り返りのコメントを記入する。</p> <p>12 挨拶をする。 T: Good bye, everyone. S: Good bye, Ms. Yanagisawa. T: See you tomorrow. S: See you tomorrow.</p>	<p>・落ち着いて振り返りが出来るような雰囲気を作る。</p>

(3) 本時の評価

- ・疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。 [知識] 【知識・技能】
- ・自分がしたいことについて、考えを整理し、疑問詞 when を用いた文でたずねたり、その質問に答えたりする技能を身に付けている。 [技能] 【知識・技能】